



前工祭開催される

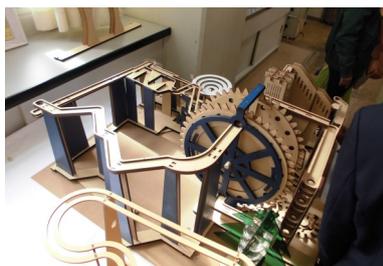


11月4・5日の2日間に渡り、第11回前工祭が開催されました。新型コロナウイルス感染症により学校行事にも多くの影響が現れる中、「3年に一度の前工祭をどうにか開催したい」という熱い思いで生徒と職員が一致団結して、感染拡大防止のために知恵を絞り、開催方法や企画について検討を重ねました。その結果、一般公開はチケット制として入場人数を限定するとともに、午前・午後の二部制として分散化を図り、開催することができました。この機会に多くの皆様に生徒や学校の様子を御覧いただき、本校についてもっと知っていただきたいと思っていたものの、それがかなわず残念ではありましたが、現下の状況を受け、最大限の工夫をして開催にこぎ着けることができました。

今回はテーマに『紡ぎ繋ぐ前工の「技」』を掲げ、工業高校ならではの学習成果の発表をはじめ、クラス、部活動、PTAの方々の企画など、多種多様な内容の工業祭となりました。御来場いただいた皆様にも満足していただいたものと思っております。この前工祭を通して、前工生の「技」が確実に引き継がれ、来年創立100周年を迎える本校にとって、大きな収穫を得ることができました。御来場いただいた皆様、御支援・御協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



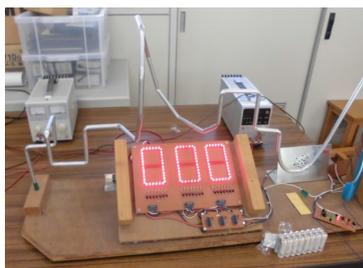
ゴム動力自動車・機械科



からくりおもちゃ
(マールマシン)・電子機械科



ムービングターゲット・電気科



イライラ棒・電子科



建築模型・建築科



測量機器キヨリ当てゲーム・土木科

学習内容紹介 土木科

○「水質検査」実習（1年生）

河川、地下水、沼の水を調べる実験を行いました。土木を学ぶ上で必要な水の物理学的、化学的、生物学的な視点から学びを深めます。前工では環境に配慮した土木をより深く学ぶことができます。

○「河川測量」実習（3年生）

桃の木川左岸堤防の横断測量を実施しました。観測後は計算処理し横断面図の製図を描きます。

前工では様々な構造物を対象にダイナミックな授業を展開しています。



部活動の活躍

今年度もこれまでにたくさんの部活動が全国大会、関東大会、県大会等で活躍しています。今回はその一部をご紹介します。

◆自転車競技部

- ・第77回国民体育大会 少年男子ポイントレース、少年男子ケイリン、少年男子個人ロードレース、4kmチームパーシュート出場
- ・全国高校総体（インターハイ）スクラッチ8位、ポイントレース・個人ロードレース出場

◆空手道部

- ・第77回国民体育大会 少年女子形競技出場
- ・全国高校総体（インターハイ）男子個人形、女子個人形出場
- ・第41回全国高校空手道選抜大会 女子団体形7位

◆新体操部

- ・全国高校総体（インターハイ）男子個人出場
- ・関東高校新体操大会 男子団体6位、男子個人出場

◆陸上競技部

- ・関東陸上競技選手権大会 男子5000m競歩出場
- ・関東高校陸上競技大会 男子5000m競歩5位、男子円盤投げ出場

◆水泳部

- ・関東高校水泳競技大会 男子100m背泳ぎ出場
- ・群馬県高校新人水泳競技大会 男子200m個人メドレー1位、女子100mバタフライ2位

◆弓道部

- ・関東高校弓道個人選手権選抜大会 男子個人出場
- ・群馬県高校総体弓道大会 女子個人2位、男子団体5位、女子団体8位

◆柔道部

- ・群馬県高校柔道選手権大会 男子個人100kg超級3位

◆写真部

- ・第68回全国写真展覧会 学生の部出展

◆吹奏楽部

- ・第64回群馬県吹奏楽コンクール 高等学校B銀賞

◆建築研究部

- ・第17回若年者ものづくり競技大会全国大会 木材加工部門出場
- ・第22回高校生ものづくりコンテスト関東大会 木材加工部門5位

◆機械研究部

- ・TSKフェス2022 with ゴム動力自動車コンテスト1位

◆土木研究部

- ・群馬県ものづくりコンテスト 測量部門2位

◆電気研究部

- ・群馬県ものづくりコンテスト 電気工事部門3位

修学旅行に行ってきました 2学年



2年生が、3泊4日で沖縄へ修学旅行に行ってきました。

高校生活のハイライトでもある修学旅行。事前準備から感染症対策を万全に行い、コロナ禍の様々な困難を乗り越えて実現することができました。

美ら海水族館や平和祈念公園（平和の礎）、首里城公園、国際通り、おきなわワールド、万座毛、アメリカンビレッジなどを見学しました。

また、青の洞窟でのダイビングやシュノーケリング、グラスボート乗船などのマリンアクティビティーを行いました。

沖縄の自然や文化、歴史を満喫するとともに、平和への思いを新たにすることができました。実り多い旅行となりました。

現場見学の報告 電気科

電気科1・2年生が神流川発電所を見学しました。

神流川発電所は純揚水式発電所で、上野村の神流川に下部調整池を、長野県南相木村の南相木川に上部調整池を設置し、この間の有効落差653m（東京スカイツリーより高い）を利用した、最大出力282万kWの発電所です。現在1・2号機合わせて94万kW（原子力発電所1基分よりやや少ない）の運転を行っています。

電気科では、水力・火力・原子力・太陽光・風力などのさまざまな発電、家庭や工場に電力を送る送電・配電、電子・通信・ICTなどについて幅広く学習をしています。

前工では、学科の特性に合わせて現場見学などの体験的学習を積極的に行っています。

